

平成30年7月2日

大雪山国立公園 登山道関係者各位

一社・大雪山山守隊 岡崎哲三
北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也
環境省上川首席自然保護官 榎 厚生

登山道荒廃状況および宿泊地利用状況調査サイト広報のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当会、当研究室の活動へのご協力に感謝いたします。昨年に引き続き、表記の情報投稿サイトを開設し、登山者に広く情報提供を呼びかけたいと考えております。昨年とは異なり、登山道と、宿泊地のサイトを一つにまとめ、山守隊のホームページ内で、収集した情報の公開も行っていこうと考えております。

つきましては、みなさまには本取り組みの趣旨をご理解いただき、登山者のみなさまへの広報にご協力いただきたく、お願いする所存です。登山者の立寄先各所への別紙のチラシの掲示、配付や、みなさまのホームページ等へのリンクの掲載などご検討いただけますと幸いです。

収集されましたデータにつきましては、登山道情報交換会を通して、共有させていただきたく考えております。

敬具

本調査の担当・問い合わせ先

北海道大学大学院農学研究院・准教授

愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 電話&FAX 011-706-2452

電子メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

「やまレポ大雪山」で、登山道の荒廃、避難小屋と野営地の利用状況の情報収集にご協力下さい！！

わが国最大の山岳国立公園である大雪山国立公園には約300kmの歩道がありますが、オーバーユースや気候変動の影響による荒廃がみられます。

避難小屋と野営指定地は、老朽化によって今後の維持管理や補修が課題となっています。その多くが無人で、利用実態も把握されていません。

美しい大雪山を守り、将来の世代にわたって登山を楽しむためには、現状の把握と対策が求められています。

登山の際に気づいたこと、撮影した写真、体験したことから、登山道の荒廃状況、避難小屋と野営地の利用状況の投稿をお願いします。

やまレポ 大雪山

大雪山では、登山道の荒廃や宿泊地の管理などが課題です。現状を把握するためには、登山者皆様のご協力が必要です。

- ・大雪山で見た風景
- ・登山道で歩きにくかったり、こわれていると思う場所
- ・泊まった宿泊地のおおよその利用していた人数

などの情報を教えて下さい。結果を集計し、関係機関にも報告して、今後の管理に活用していきます。

大雪山・山守隊
北海道大学
連絡・問合せ先：tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

どんな情報を投稿しますか？*

風景・見どころ

登山道の状況

宿泊地の状況

その他

スマホやタブレット、コンピューターから、簡単に投稿できます。結果は地図に反映し、便利な登山道情報とともに「大雪山山守隊」のホームページでご覧いただけます。



<https://arcg.is/0Tzfn4>

大雪山山守隊

<https://www.yamamoritai.com>

調査実施・連絡先：北海道大学 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9西9 電話&FAX 011-706-2452

電子メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

大雪山山守隊,北海道大学,環境省上川・東川・上士幌自然保護官事務所